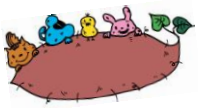
封戸保育園だより

２０２２（令和４年）11月

No，６１９

【編集・発行】
封戸保育園
0978 - 22 - 3677



◆「相手を思う気持ち＝おもいやり・配慮・気づかい」などといった言葉がでてきます。
◆お笑い芸人の「なかやまきんに君」のYouTube（筋力アップ・ストレッチ）が人気とのこと、街頭インタビューでその理由は「誰も傷つけない」「聞いてて嫌な気持ちにならない」などあげられていました。
◆「自分が自分が…」となってしまったり、「私ばかり…」と思ってしまったりすると、相手を攻撃してしまう強い言葉が出てきやすくなってしまいます。
◆1 日のうちどこかで一旦リセットできる時間を持つ、又は話を聞いてもらう人、場所があることは幸せです。
◆自分が思っているほど自分は強くありません。疲れたら疲れたと言える自分をいたわってください。
◆親鸞聖人は「煩悩具足の凡夫（ぼんのうぐそくのぼんぶ）＝煩悩（私たちを悩み煩わせるもの）まみれの人間。それこそが、真実の自己の姿である。」
と言われています。煩悩まみれの私だからこそ相手を思う気持ちを大切にしたいと思います。

先日、玄関のところで微笑ましい会話が交わされていました。
その日は１０月にしては、寒い日でした。殊に夕方は冷え込んでいたのです。

「おかあさん、今日は寒いけんあったかいおかずにしようよ」
「いいよ。何が食べたい？」
「シチューとかカレーとかがいいかな？」
「いいよ。じゃあ急いで帰って作ろうかな」
「うん」

声しか聞こえなかったのですが、子どもの笑顔やおかあさんの優しい顔が見えるようでした。

仕事に、家事に、育児にと慌ただしく過ごしているであろう保護者の方との何気ない会話でしたがほんのり灯るろうそくの灯りのような、聞いている方も心が温かくなるような会話でした。
きっと、美味しい温かい食事を作ってもらって食べたことと思います。

「てぶくろをかいに」という新見南吉のお話をふと思い出させてくれました。
よかったら読んでみてください。

おたんじょうび　おめでとう！

８名のお友だちが

お誕生日を迎えます

＜おとき＞ってなんのことでしょう

１１月１６日（水）は、御正忌報恩講の（親鸞様のご法事）のおときをいただきます。
＜おとき＞では、精進料理をいただきます。
肉も卵も使わない料理です。
私たちが、近親者を亡くした時、親しい人を亡くした時、悲しみに包まれますね。そうした中で食卓に並ぶ肉や魚に思いを馳せるとき「いのち」をいただいていることに気づくのです。そしていのちの尊さを思い食事をいただきます。
小さい子どもたちですが、子どもたちなりに何かを感じてもらうことができればと思っています。

11月行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
					誕生会		勤労感謝の日						歯科・内科検診														文化の日		